

# LINE Notify 終了に伴う代替手段について

通い農業支援システムにて、これまで利用しておりました、LINE ヤフー株式会社が提供するメッセージ通知サービス (LINE Notify) が 2025 年 3 月 31 日で終了となります。代替手段として、他のメッセージサービス (Discord) で利用する方法についてお知らせいたします。  
(2025 年 3 月)

## 目次

LINE Notify 終了に伴う代替手段について .....	1
Discord での利用について .....	2
1. Discord でテキストメッセージや画像を送る方法について .....	2
2. Bot の作り方とトークンの発行について .....	2
3. チャンネル ID の取得について .....	7
Discord での利用するためのプログラム修正 .....	9
1. 通知するためのトークンの変更点 .....	9
2. メッセージを通知するための書き方の変更点 .....	10
3. 画像を通知するための書き方の変更点 .....	10
4. 通知音を鳴らす方法について .....	11

### 【免責事項】

- 本資料を用いて作成する「通い農業支援システム」、「配布プログラム」の利用又は利用不能で生じた直接又は間接的損害について、責任を負いません。
- LINE は LINE ヤフー株式会社の商標または登録商標です。
- Discord は、Discord Inc. の商標または登録商標です。
- GitHub は、GitHub Inc. の商標または登録商標です。
- その他、会社名、商品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

# Discord での利用について

Discord は LINE のようなメッセージのやりとりや音声通話等ができるメッセージアプリです。Discord の詳しい使い方については、Discord のサポートページにあります「Discord のヘルプセンター (<https://support.discord.com/hc/ja>)」を確認し、「Discord の基本」から「初心者向けガイド」を確認してください。

ここでは、Discord のアカウントを作成し、自分のサーバ(メッセージを通知するためのグループのようなもの)を作成した前提で手順を紹介いたします。ここでは簡単に説明するため、Windows パソコンでの操作を説明いたします。

## 1. Discord でテキストメッセージや画像を送る方法について

LINE では LINE Notify という通知サービスを利用しました。LINE Notify と友達になり、LINE Notify を通知したいグループに招待しました。

Discord では、LINE Notify と友達になる代わりに、Bot とよばれるものを作り、通知したいサーバ(LINE で例えるとグループに相当するもの)に招待する必要があります。

## 2. Bot の作り方とトークンの発行について

1) Discord Developer Portal にアクセスします。ウェブブラウザで、「Discord Developer Portal」を検索、あるいは「<https://discord.com/developers/applications>」にアクセス後、メールアドレスとパスワード、あるいはスマホアプリを既にインストールしている場合は、QR コードでログインしてください(図1)。

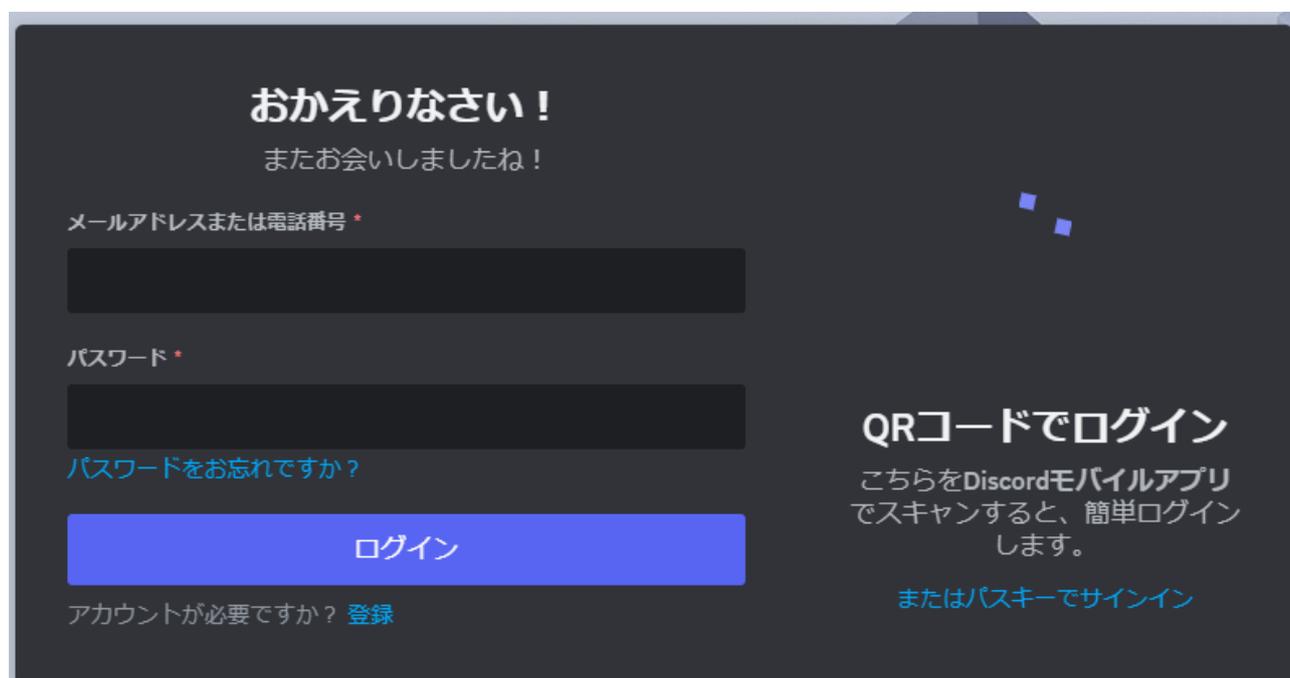


図1. ログイン画面

2) 右上にある「New Application」をクリックし、アプリケーション名を入力（ここでは「kayoinougoushiensystem」としてあります）して、チェックボックスにチェック後、「Create」をクリックします（図2）。

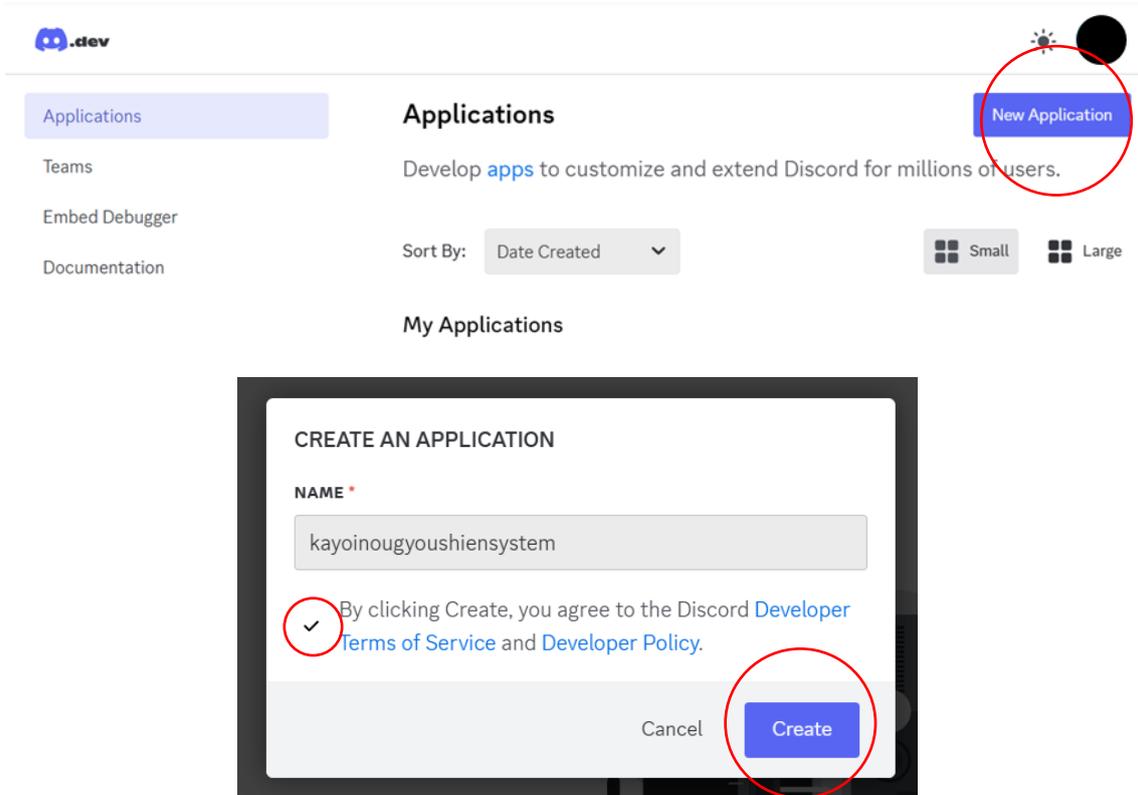


図2. New Application の作成画面

3) 左のメニューから「Bot」を選択します（図3）。

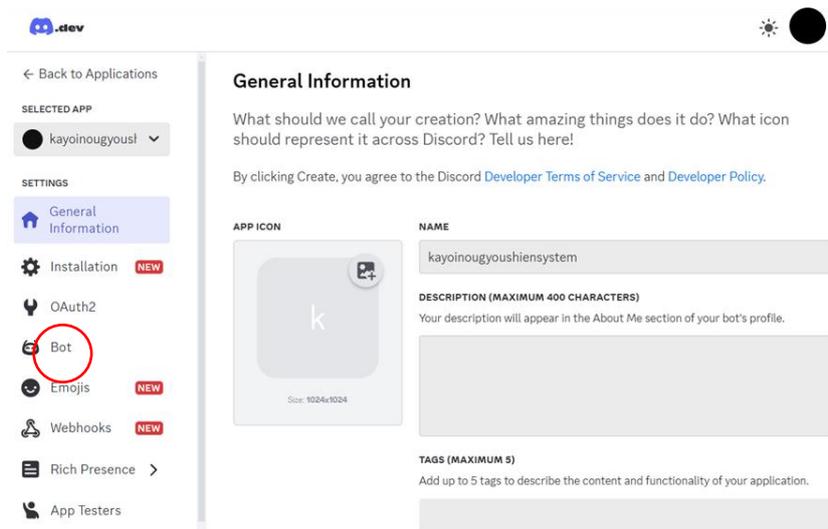


図3. アプリケーション作成後の画面

4) Bot のトークンを取得します。まず、「Reset Token」をクリック(図4)し、「Yes, do it!」を選択します(図 5)。選択後、アカウントのパスワードを入力すると、Token が発行されるので、これをコピーしてメモ帳や自身のメール等に保存しておきます。

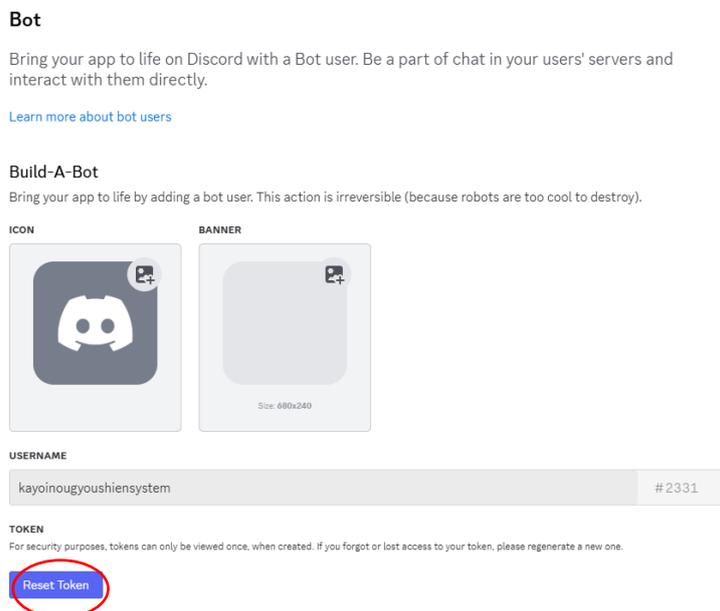


図4. アプリケーション作成後の画面

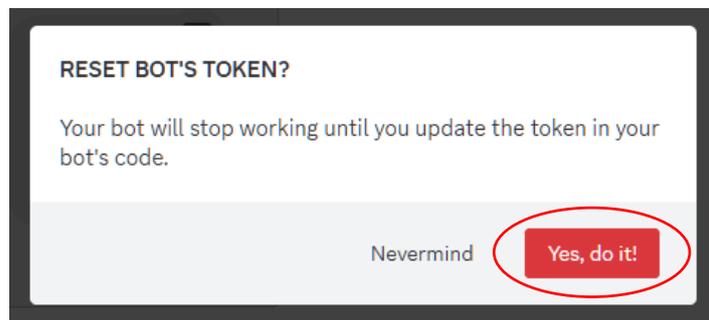


図5. Reset Token を押したときの画面

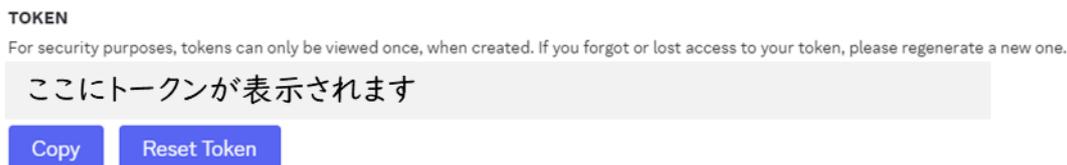


図 6. Token が発行された後の画面

5) 左メニューから「OAuth2」をクリックし、「OAuth2 URL Generator」のところまで移動します。そこで、「SCOPES」の中にある「bot」にチェックを入れます(図7)。その後、画面を下に移動すると「BOT PERMISSIONS」という表示が現れるので、「SEND Messages」にチェックを入れます(図8)。

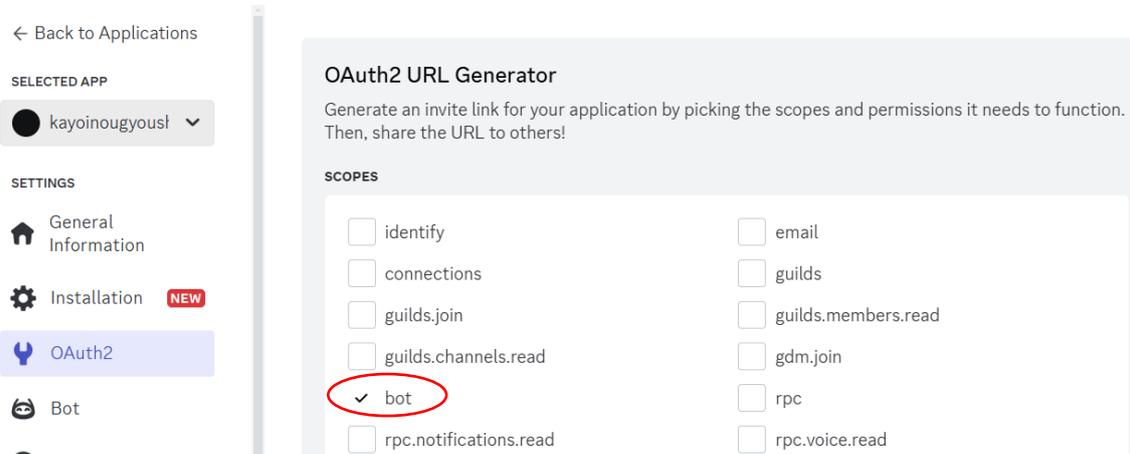


図7. OAuth2 メニューから「bot」を設定する画面

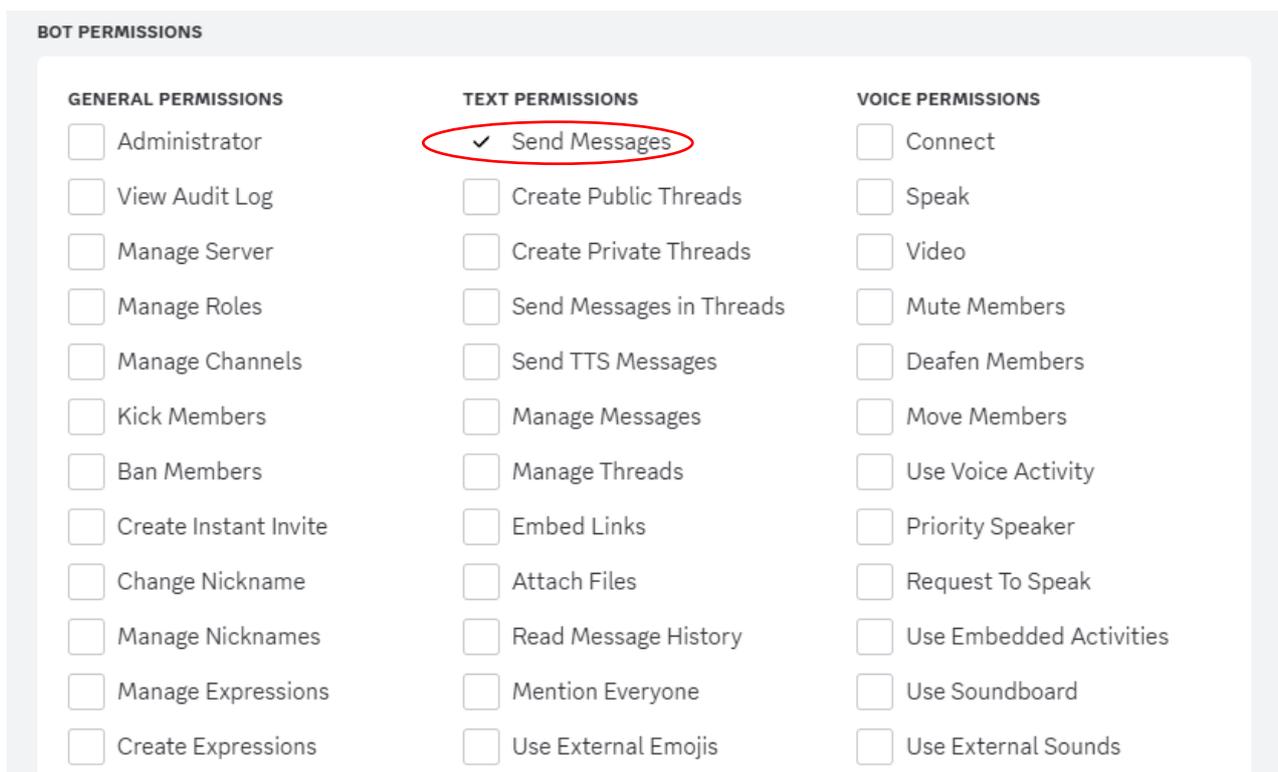


図8. OAuth2 メニューから「Send Messages」を設定する画面

6) その後、下にスクロールしていくと「GENERATED URL」があります(図9)。「COPY」をクリックし、ブラウザに貼り付け URL にアクセスします。通い農業支援システムでデータを通知するサーバを選択(ここでは「育苗ハウス」というサーバを事前に作成しています)し、「はい」をクリックします(図10左)。その後、「メッセージを送信」にチェックが入っていることを確認し、認証をクリックします(図10右)。

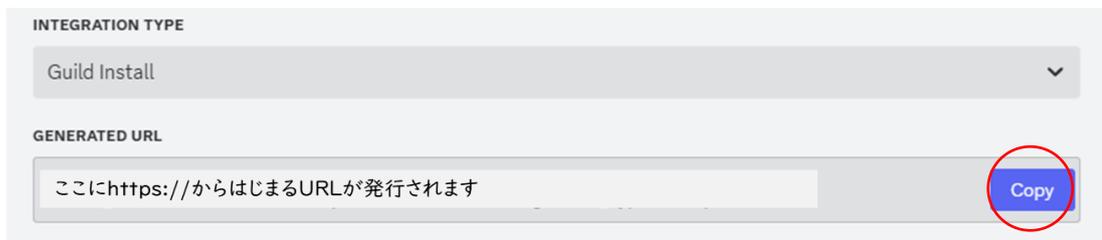


図9. OAuth2 メニューから「GENERATER URL」を設定する画面

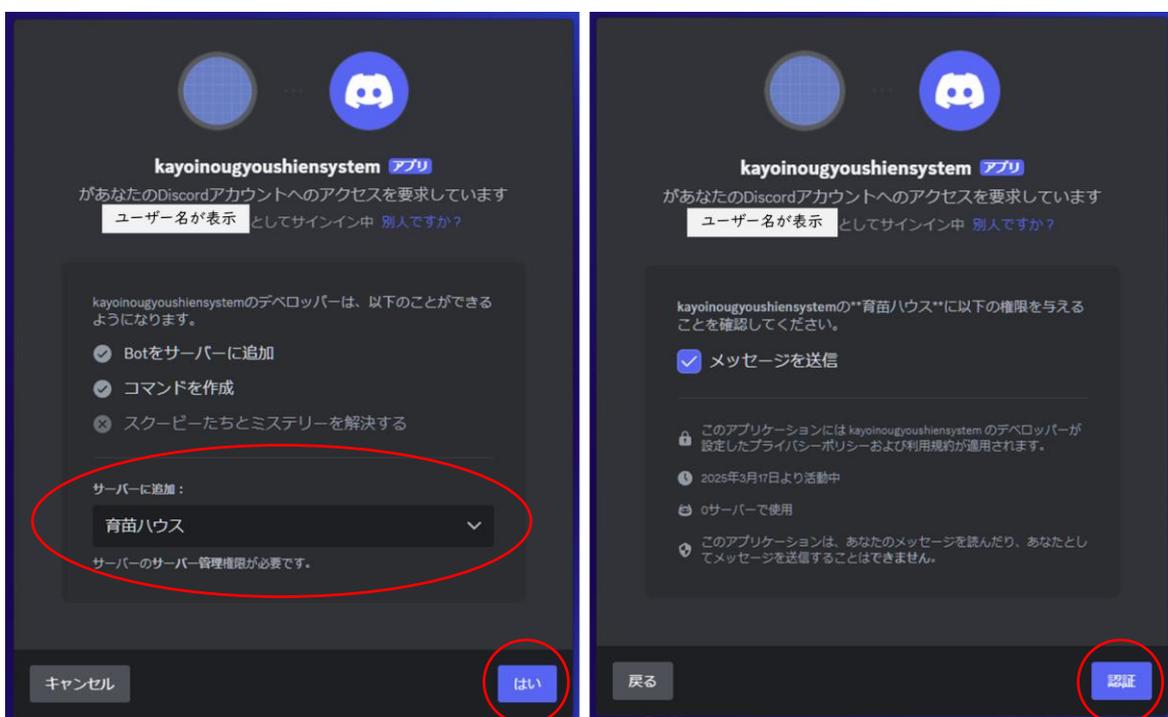


図10. 作成した Bot をで利用できるように設定する画面

### 3. チャンネルIDの取得について

これまでに作成したBotを利用できるようにし、チャンネルIDを取得します。

1) Discord をアプリ、あるいはブラウザで起動します。その後、「ユーザー設定 (⚙️ 歯車のマーク)」をクリック (図11) し、左上の検索ボックスから「開発者モード」と入力し、検索結果の詳細設定をクリックし、右のメニューから「開発者モード」をオンにします。オンにした後は、右上の「ESC」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。



図11. Discordで自分のサーバ(ここでは「育苗ハウス」)を選択した画面



図12. ユーザー設定から開発者モードをオンにする画面

2) Discord をのホーム画面から、利用するサーバ(ここでは「育苗ハウス」)をクリックし、データの通知を行うテキストチャンネルをクリックします(ここでは「#一般」)となります。その後、「#一般」を右クリックすると「チャンネル ID」をコピーとあるので、ここをクリックしメモ帳などを開き、コピーして保管してください。



図 13.テキストチャンネルからチャンネル ID をコピーする画面

# Discord での利用するためのプログラム修正

LINE Notify のメッセージを通知するための記述が変更となります。ここではどのように修正すべきかを説明します。また、通い農業支援システムのプログラムを Discord で利用するために、各プログラムにおける記述を変更したものを記載しております。

Discord で利用できるプログラムについては Github にて公開しております。

下記 URL よりダウンロードをお願いします。

<https://github.com/YoshimichiYAMASHITA/KayoinougyouShienSystem>

📁 program\_for\_discord フォルダにプログラムが入っています。

## 1. 通知するためのトークンの変更点

以下3点の修正が必要となります。

- ① LINE Notify に相当する BOT 自体のトークンが必要
- ② 通知するグループに相当するチャンネル ID が必要
- ③ メッセージを送るサーバが Discord 宛てになるため URL99 が変更になる

Program1.py を用いて説明します。通い農業支援システム制作マニュアル p.34 あるいはこれまでお使いの Program1.py を確認してください。17~21 行目が以下のように変更になります。変更箇所は赤字です。

### 【修正前】

17	#LINE notify の URL
18	#LINE notify のトークン(通知先に応じて変更すること)
19	
20	url99 = "https://notify-api.line.me/api/notify"
21	token = '通知する LINE グループのアクセストークン'

### 【修正後】

17	#Discord Bot API の設定
18	#BOT のトークンとチャンネル ID (通知先に応じて変更すること)
19	DISCORD_TOKEN = 'Discord の BOT の TOKEN を入れてください'
20	CHANNEL_ID = '送信する Discord のチャンネル ID を入れてください'
21	url99 = f"https://discord.com/api/v10/channels/{CHANNEL_ID}/messages"

## 2. メッセージを通知するための書き方の変更点

payload と headers の書き方が変更になります。Program I.py を用いて説明します。通い農業支援システム制作マニュアル p.34 あるいはこれまでお使いの Program I.py を確認してください。30~33 行目が以下のように変更になります。変更箇所は赤字です。

### 【修正前】

```
30 #LINE に通知するための3行
31 payload = {'message' : message}
32 headers = {'Authorization' : 'Bearer '+ token,}
33 r = requests.post(url99,data=payload,headers=headers)
```

### 【修正後】

```
30 #Discord に通知するための3行
31 payload = {"content": message }
32 headers = {"Authorization": f"Bot {DISCORD_TOKEN}"}
33 r = requests.post(url99, data=payload, headers=headers)
```

## 3. 画像を通知するための書き方の変更点

メッセージ通知の変更の時の変更に加え、files の書き方が変更になります。kayoi\_daily\_report.py を用いて説明します。通い農業支援システム制作マニュアル p.79~84、あるいはこれまでお使いの kayoi\_daily\_report.py を確認してください。157~160 行目が以下のように変更になります。変更箇所は赤字です。

### 【修正前】

```
157 payload = {'message' : message}
158 headers = {'Authorization' : 'Bearer '+ token}
159 files = {"imageFile":open("graph I.png","rb")}
160 r = requests.post(url99, data=payload, headers=headers, files = files)
```

### 【修正後】

```
157 payload = {"content": message }
158 headers = {"Authorization": f"Bot {DISCORD_TOKEN}"}
159 files = {"file": open("graph I.png", "rb")}
160 r = requests.post(url99, data=payload, headers=headers, files = files)
```

#### 4. 通知音を鳴らす方法について

Discord で通知音を鳴らす設定にしても、メッセージが届いた際に通知音が鳴らない場合があります。特に、スマホのアプリの通知を許可していても鳴らないことがあり、警報通知で使用する際に困ります。これを防ぐため、**メッセージの頭に「@everyone」をつけることで通知音が鳴るようにすることができます** (LINE Notify の時と同様にグループ全員に音が鳴ります)。事前にテストを行い、ご自身の環境で通知音が鳴るかを必ず確認してからご利用ください。

Program1.py を用いて説明します。通い農業支援システム制作マニュアル p.34 あるいはこれまでお使いの Program1.py を確認してください。23~28 行目が以下のように変更になります。変更箇所は赤字です。

##### 【修正前】

23	#LINE に通知するメッセージを記入 ''は文字列のこと
24	message = 'ハウスの情報\n'
25	#message += を使うと通知メッセージを増やせる
26	#センサ名、データ番号、単位を書く
27	message += '温度1:'+str(data1)+'°C'+'\n'
28	message += '温度2:'+str(data2)+'°C'

##### 【修正後】

23	<b>message = '@everyone\n'#@everyone をつけると通知音が鳴ります</b>
24	message += 'ハウスの情報\n'
25	#message += を使うと通知メッセージを増やせる
26	#センサ名、データ番号、単位を書く
27	message += '温度1:'+str(data1)+'°C'+'\n'
28	message += '温度2:'+str(data2)+'°C'